

広 報

昭和 5 6 年

毎月 1 日

発 行

NO. 255



とうえい

用[〃]心[〃]と備[〃]えと



火の用心と万全の備えで
無火災宣言を！。
(写真は町の消防操法大会)

あなたです！
火事を出すのも防ぐのも

春の全国火災予防運動 2月28日～3月13日 展開中

春の足どり

木の芽[〃]ふく春。春は摂氏五度とともにやってくるー春の花や樹木が冬眠[〃]状態から覚め、成育をはじめるのは一日の平均気温が摂氏五度以上になってから、といわれています。

日本の春は南からやってきて、しだいに北上していくことは、ご存知のとおりー。つまり、一日の平均気温摂氏五度の線(等温線)が、いつごろ、どの辺を通っているかを見れば、春の足どりをたどることができます。

東栄町に春の訪れるのを等温線から割り出してみると、三月上旬から中旬にかけてです。春の足どりが聞えてくると、卒業式から入学式(新学期)、年度末から新年度など、新しい「節目」に備えて準備をおこたりなくー。

3月号

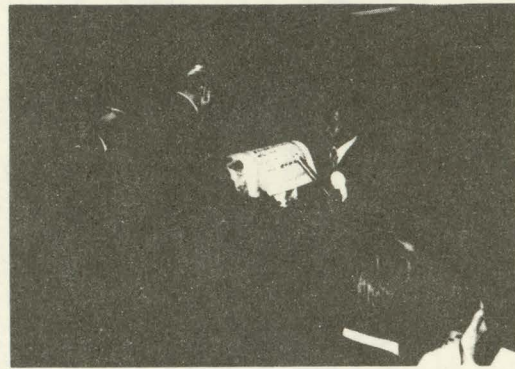
人口と世帯

2月1日現在
()内は前年比
人 口 6,321人(-116)
男 3,030人(- 59)
女 3,291人(- 64)
世帯数 1,809戸(+ 6)

(住民基本台帳+外国人登録)

東栄町が晴れの表彰

全国町村会 優良町村として 定期総会で



優良町村を代表して表彰をうける原田町長

★ ★ ★ ★

去る一月三十日、東京の全国町村会館ホールで開かれた全国町村会定期総会において、東栄町が優良町村として晴れの表彰を受けました。この定期総会で表彰されたのは、全国では六十七か町村。愛知県からは、東栄町だけがこの荣誉に輝きました。この日の表彰式では、優良町村を代表して原田町長が、坂本全国町村会長から表彰状と記念品を受けました。

東栄町が誕生してから二十五周年。過疎化の波に洗われたきびしい諸条件の中で、交通通信網の整備、産業の振興、教育文化の充実、医療の確保、生活環境の改善など、あらゆる施策を着実に推進してきた実績が全国的に認められ、このたびの表彰となったものです。

★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

社教施設の充実費にと 原田静雄氏から百万円

寄附採納



町長室を訪れ寄附金を納める原田氏(左)

去る一月二十三日開催の町議会臨時会において、条例の一部改正と補正予算の案件のほか、寄附採納案件が原案どおり可決されました。

これは、原田静雄氏(西園目)から町に対して、総合社会教育文化施設充実費にと百万円が寄附されたものです。町ならびに教育委員会では、こ

給与条例の一部改正 補正予算など原案可決

町議会
臨時会

議会臨時会が、一月二十三日、午前十時から役場会議室で開催されました。提案された条例の一部改正四件、補正予算二件、その他一件、合わせて七議案が慎重審議され、ともに原案のとおり可決されました。その概要をお知らせいたします。

◎議員報酬、特別職の給与条例が一部改正されました。

◎職員給与と条例も一部改正されました。

◎一般会計予算は第五回目の補正。今回の補正で歳入、歳出ともに一千三百八十八万三千円を追加。総額は十六億九千六百八十九万五

千円になりました。主なものは、給与改定による増などです。

◎東栄病院事業特別会計も三千六百万一千円の補正。

国民健康保険東栄病院事業特別会計予算に、歳入・歳出三千六百万一千円を追加し、総額は五億四千七百八十九万四千円になりました。この内容の主なもの、給与改定に伴う給与、手当などです。

(昭和56・1・1施行)

去る一月二十三日開催の町議会臨時会において、条例の一部改正と補正予算の案件のほか、寄附採納案件が原案どおり可決されました。

これは、原田静雄氏(西園目)から町に対して、総合社会教育文化施設充実費にと百万円が寄附されたものです。町ならびに教育委員会では、こ

千円になりました。主なものは、給与改定による増などです。

町民総ぐるみで
即日実行に
移りましょう

冠婚葬祭等の簡素化を

の厚意に感謝するとともに、原田氏の意にそうべく、活用の方途を十分検討し、有効に運用することとしています。また、教育委員会では、国の褒章基準にそって、紺綬褒章の申請手続きをすすめています。

一、婚礼の改善
◇婚礼の祝儀、引出物はできるだけ簡素にする。

二、葬儀の改善
◇記念品(引き物)の廃止。
◇香典返しは、千円程度のものであるとする。

三、初盆の改善
◇提灯をおくことはやめる。

四、病氣見舞の改善
◇病氣見舞はなるべく簡素に。
◇病氣見舞のお返し(全快祝、快気祝等)は廃止し、札状だけとする。

(東栄町・東栄町冠婚葬祭等簡素化推進協議会)

専業、兼業別農家数

	農家数	総数	専業	兼業	
				農業が主	兼業が主
45年	農家数	1,076	59	144	873
50年	農家数	949	73	115	761
55年	農家数	903	78	76	749
	構成比	100%	8.6%	8.4%	83.0%

今回のセンサスによると、町の総農家数は九百三戸で、これは町内総世帯数のほぼ半分にあたります。過去の動きは、別表のとおり

農家は総世帯数のほぼ半分

- ▽ 昨年二月に行われた一九八〇年農林業センサスの結果を△もとにして、過去十年間における東栄町の農業の動きを分析してみました。ちょうど十年前から始まった米の生産調整の減反政策が、農家数や経営耕地面積の減少傾向に拍車をかける結果となり、統計数値をみる限り、昭和五十年を△ピークに鈍化の傾向にあるとはいえ、町の農業は、いま、△剣が峯に立っているといえそうです。

農林業センサスの結果と分析

剣が峯に立つ町の農業

50年以降は好転材料も

を占めています。五十年以降ではほぼ横ばい。これは、養鶏をはじめ緑茶、養蚕、稲作などの複合による営農形態が定着しつつある結果ではないかと思われ。一方、兼業農家は全体の九一%を占め、このうち、農業を主とする兼業農家が、ついに実数で専業農家数を下回り、兼業を主とする農家数は全体の八三%と構成比では依然として増え続けています。

これは、小規模農家における農業依存性の低下、さらには他産業への就業の機会が増加したことがその要因だといえそうです。

男子の就業者 著しく減少

統計が示すように、過去十年間でも特に前半の五年間に目立って減少しているわけで、生活様式の変化や若年層の農業離れなどで小規模農家が勤労世帯へと移行したことが主因ではないかと思われます。

91%占める 兼業農家

専業・兼業別農家数の推移では専業農家が四十五年時と比べ実数で十九戸増え、構成比で八・六%

農家人口と就業人口

	農家人口			農業就業人口	
	総数	男	女	男	女
45年	5,015	2,374	2,641	1,352	1,606
50年	3,988	1,845	2,143	1,152	1,332
55年	3,573	1,687	1,886	334	772

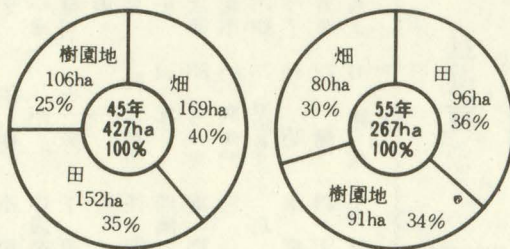
千十八人(七五%減)。特に、後半の五年間(五十年以降)に大幅な動きがあったわけではなく、実質的な就業人口の減少は、将来展望にきびしいものを感じさせます。

進む農家の小規模化

経営耕地面積の総計は、二百六十七ヘクタールで、過去十年間で百六十ヘクタール(三七・六%)と大幅に減少したものの、農家数同様に五十年以降は四十二ヘクタールの減少で、減り方もかなり鈍ってきています。

このような経営耕地減少の原因は、四十六年からの米生産調整から水田利用再編対策に至る一連の

経営耕地面積の推移



減反政策の影響が大きく、水田をはじめとする耕地の林地化や他地目への転換によるほか、耕作放棄などの累積によるものとみられます。また、経営耕地を現別農家数で見ると、十アールから三十アール未満の階層がもつとも多く三百六十六戸で全体の四十%を占め、この構成比は十年前と比較すると一割近く増えています。また、一ヘクタール以上の農家は、十年前には二十四戸であったものが、今回の調査ではわずかに七戸。しかし、五十年調査時の六戸より増えており、したがって、大幅な動きは、四十五年から五十年にかけての五年間ということになります。いずれにしても、調査では農家の小規模化がさらに進んだ結果が出ています。

とうえい

「文化祭」テーマ論文発表



ふるさとの文化を見直し育てよう
生活に根ざす文化育成への提言

入選

一般の部

竹内正明

はじめに

ここでとり上げようとする「文化」は、「学問、芸術などの質の高い創造的活動や、文化財」等の狭義のものでなく、「暮らし方や生き方」までを含めた、最も広い意味のものである。すなわち「日常生活の中で、自己を向上させていくための自主的な営み」全体を文化活動と考え、これが日常生活に根ざしながら地域の人々の活動として、育成されるためにはどうしたらよいかという視点に立つて基本的な考えを提言したい。

一、生活に根ざす文化とは

江戸時代から受け継がれ、今も町内の一部に残っている「庚申様」に例をとって考えてみる。庚申様は百姓の神等、四十六種にも及ぶ願いをこめた民間信仰の代表的な神である。この「講」が、なぜ民衆の生活の中に根づき、年中行事として継承されるようになったであろうか。科学の発達していない世の中では、生産を高めるための手だてとしては、「信仰」に頼るしか方法がなかった。年貢を納め、食べるために精いっぱい知恵がしぼられ、現代のように「文化」を求めることなど思いもよらなかった。しかし、そうした中で自然に生まれてきたものは、「講」を結んで信仰や飲み食いを共にするということだが、社交や娯楽を意味していたし、同時に村人同志が、生活を共同にする場ともなり、それなりの「文化」が民衆文化として生活の中に育ち、根ざして来た。現代の人々は「物より心の時代」「経済より文化の時代」と考えられている。

代が変わってきたのである。故に現代の生活に根ざす文化の創造は、町民の主体的参加によって自らが生み出すさまざまな文化活動を求めようとする、生活改善型文化であると考えたい。そこで、文化の育成には条件に恵まれているはずの現代に、文化が育てられない要因を把握して、生活に根ざす文化育成の手だてを考えてみる。

二、生活に根ざす文化育成の手だて

- (1) 町づくり討論会の開催
現在の文化行政組織の枠にとらわれず、町民の各層を代表する全く新しい組織づくりで行う。町政懇談会も必要であるが、更に町民対話の機会を広く数多く持つ。全町民からの悩みや要望に耳を傾け、知恵を求めるとは「わが町」意識が一層高まり、コミュニケーション活動が促進されることとなる。
- (2) 広報の開放
広報活動は町民の生活文化に如何に斬り込むかの課題を持ちたい。親しまれる町報にするための町民からのアイデアの募集も、町民参加の足場となる。ミニコミづくり

- の盛んな今日、町民の立場で意見の交換しあえる「発言欄」が加えられれば、町報のスローガン「あなたと町政を結ぶかけはし」に、更に深く広く根が張られていく。
- (3) 予算措置の弾力性
助成金の交付には、わずらわしさのあることは納得できるが、文化活動面には年度発想にこだわらない柔軟性や、手続き事務の簡素化が必要である。また、総花的バラまきにならないために、「文化育成〇ヶ年計画」の策定による重点化と効率化を望みたい。
- (4) 新しい文化活動の企画
へき地の文化格差解消のため、文化事業の巡回が促進され、文化祭の運用では、各地の文化施設の保有する文化財(絵画、墨跡等)の相互貸借、郡内規模の文化、芸術祭の開催等、新しい企画の実現を望みたい。
- (5) 町民の文化向上への意欲の喚起
町報、討論会等での町民の建設的な提言や、創造的な考えが埋没せずに行政面に吸い上げられ、文化育成の血液となるような配慮を望みたい。

さらに考究すれば、次のようなさまざまな問題に当面する。経済基盤の確立と文化の担い手の確保、「天地人の教育」による人材育成と地域カリキュラムの活用、町内や町出身の文化人により文化活動の発展に貢献してもらう仕組みの工夫、文化諸施設の活用

等、これらについても言及したいが紙面の都合で省略する。文化を町民の主体性において受けとめ、今より更に、「活力のある町」「住みよい町」「訪れてよい町」づくりを願いたい。六千人の町民が、ひたひたを寄せ合い、知恵をしばり力を合わせれば、生活に根ざした文化の花が満開となるのも遠くないことであろう。

論文応募の動機

竹内正明氏は次のように話しています。「四十二年間の教員生活に暮がおろされたとき、これから自分の腰をおろす地域社会が、またこの町が、更には自分の家庭や生活がこれからの社会でどうなるのか、どうなるのが望ましいのか、そのために町民としての私たちが何をしなければならぬのかを勉強するために、いろいろな書物を読みこらして得た知識をもとに、文化祭テーマ論文に応募しました」

竹内正明氏の横顔

現住所・大宇中設楽字外具津七の九〇六十二歳▽昭和12年3月・盛岡高等農林学校(現岩手大学農学部)卒業▽同年4月御殿青年学校専任教諭を振出しに郡内外の青年学校・小中学校に勤務、54年3月設楽町立清嶺中学校教頭を最後に42年間にわたる教職を退職。

春は危ない!!

火災が最も多い季節です

春季火災 防火意識を高めよう

このように伝えていきます。冬から春先にかけては、空気が乾燥し、強い風が吹くことが多く一年のうちでも火災の発生が最も多い季節です。昭和五十四年を例にとりますと、冬から春先にかけての火災発生件数は、年間の約六割を占めています。

また、出火原因のトップは相変わらずたばこで、年間約百三十億円が灰となっています。

二月二十八日から三月十三日まで、春の全国火災予防運動が展開されています。火のもとには、十分気をつけましょう。

●東栄町消防団●

非常出動訓練など防火活動

ところで、東栄町消防団では、期間中に次のようなことを重点に予防運動を展開することになっています。

- ◇広報 ①文書による各戸回覧、②サイレンの吹鳴、半鐘の打鐘、(三月七日〜十三日の七日間) ③

出火原因のトップは

たばこ

昭和35年以来、19年間“独走”

年間



- ▷ 投げ捨て.....59.8%
- ▷ 灰皿などから落下.....15.5%
- ▷ 消し忘れ.....8.5%

この日本列島のどこかで、八分十四秒に一回の割合で火災が発生し、毎日二十八人が亡くなったたり傷ついたりしている。先ごろ発表された昭和五十五年版消防白書は

広報車による広報活動などにより住民の防火意識の高揚を図る。

◇防火点検 各戸の火の元及び消火器などの点検を行う。

◇消防施設の整備点検 ポンプ、積載車、無線機、防火水その水位など、非常の際不備のないよう点検整備を実施する。

愛好者のご参加を

“囲碁を楽しむ会”が発足

「東栄町囲碁を楽しむ会」(会長村松義男氏)が結成されました。

これまでも、町内の愛好者たちが、文化祭などに囲碁会を催してお互いの親睦を図っていましたが、これらの輪をさらに広めて、目的を持ったグループ活動を...という

ことで、このたびの発会となったもの。さきごろ開かれた初春囲碁会の総会で規約などを定め、正式

にスタートしました。「囲碁を楽しむ会」では、囲碁を愛好するみなさんのご参加を広く呼びかけています。

天文台だより

今月の星空 (日本の星)

「あの星座はギリシャ神話の中に出てくる...」という解説をしてきました。でも考えてみると、現在使われている星座は、言い換えればギリシアや紅茶のように、もともと日本にはなかったものはず。では日本に古くからある番茶のような星の呼び名を探しましょう。作家の大仏次郎の実兄にあたる

◇非常出動訓練 期間中又はその前後に非常出動訓練を行う。そのほか、この時期になると、消火器等の販売業者が高い価格で訪問販売することがありますが、顔見知りの消防団員以外からは購入しないよう、消防団では注意を呼びかけています。

4月から4,500円国民年金の保険料

国民年金の保険料は、今年四月から一カ月分が四、五〇〇円に変わります。これは、老齢年金の受給者がふえ続けていくのと、年金額が物価上昇などに合わせて毎年増額されていくために、給付の足し前をする国の負担額もふえ、被保険者の保険料負担もふえてゆくためです。

野尻抱影は、天文に関した本を多く残し、その内容から天文学者としてんぶんがくしやとあだ名がついた程です。その著書の中の「日本の星」には日本各地から集められた星の方言がのっています。ギリシア神話にはロマンティックなものもありますが「日本の星」には、季節の変化に特に心を配っていた農民や漁民がつけたと思わ

れるカラスキボシ。イカリボシといった素朴な名が多く見られます。今のカレンダーや時計のような役割を星に求めた結果、おすばるさん(スバル)、ねのほっさん(北極星)のように、親しみをもってさん付けで呼ばれる存在になったようです。

春の星として有名な北斗七星は、船のカジに見たてられて、カジボシと呼ばれました。三月、四月は新年度の変わり目として、自分の進路を決め、しっかりとカジをとりたいものです。

母と子の健診と相談

母親教室

当町では東栄病院と共同で母親教室を行っています。病院でお産予定でないかたもどしどし受講してください。

◇日程 3月19日(木)
テーマ…妊娠の生理と注意、分娩の準備、安産教室

4月1日(水)
テーマ…赤ちゃんの保育、妊娠中の栄養、産後の生活、家族計画

◇時間 受付 午後1:30~2:00
講義 午後2:00~4:30

◇場所 東栄病院 研修室
◇持参するもの 母子手帳、うぶごえ(ある方のみ)

◇講師 瀬口医師・助産婦・保健婦・栄養士
◇費用 無料

乳児 妊婦 母親 健診

◇日時 3月26日(木)
午後1時~3時

◇場所 産業会館 保健室
◇対象 妊婦…町内全妊婦
乳児…昭和55年3月、5月、7月、9月、11月、昭和56年1月中に生まれたお子さん
母親…2ヶ月児と1才児をお持ちの母親

◇持参するもの 母子手帳
◇費用 無料

◎転居届は郵便局にも
転勤、就職、入学などで転居されることの多くなる時期になりました。転居される時は、郵便局にも転居届をお出しください。転居届の用紙は、郵便局の窓口、町役場の窓口に備え付けてあります。

所得の申告は
確定申告は
お済みですか



昭和五十五年分の所得税の確定申告期限は三月十六日(月)ですが、申告はもうお済みでしょうか。申告しなければならぬ人が申告をしなかったり、誤った申告をしたりしますと、後で不足の税金を納めるだけでなく、加算税などを余分に納めなければなら

進入学、就職のお祝いをお便りください

進入学、就職のシーズンを迎えました。希望を胸に新しいスタートを切る友人や知人に、お祝いや激励のお便りを送りましょう。幼稚園、小学校へ入園入学されるかわいらしいお孫さんや、親類の子供さんなどへは、美しいデザインや愛らしい絵などの入ったグリーティングカードを添えるのも喜ばれるものです。

す。また、私製はがきに新住所、旧住所、転居者の名前、世帯の全部か一部かの別、転送開始希望月日を書いて、お近くのポストへ投かんしていただいても結構です。この場合、はがきの表面左上部に「通信事務(依頼信)」と記入し

ていただければ切手をはる必要はありません。出された転居届により、向こう一年間、旧住所あての郵便物を新住所へ転送します。なお、小包郵便物や書留とした通常郵便物の転送には、転送料が必要になりますから、友人や知人など主な通信先へはなるべく早く新しい住所を連絡しておきましょう。郵便物を早く受けとっていただくためにもぜひご協力ください。(東栄郵便局)

ないこととなりますので、ご注意ください。 (新城税務署)

戸籍の窓口

〈一月受付分〉

氏名	年齢	世帯主	住所
藤原 圭二	俊郎	市場	
小石 一彦	昭	中設楽	
森谷 健司	一美	下田	
かなしみ			
折地 正一	84	邦一	西園目
前崎 寛次郎	83	秀夫	本郷
伊藤 亀市	83	興衛門	古戸
平賀 市作	73	原田あき子	月
伊藤 さつ子	46	昭	本郷
尾林 富太郎	72	護	御園
伊藤 ちよ	91	辰雄	小林

ふるさと歌壇 互選首

〈一月詠草歌〉 第二二七回

日本晴松が枝茂る軒山に初日輝く尾呂の谷間に
鈴川 三重
冷え冷えと山間の霧は川の面にたなびき初めて日は暮れかかる
佐々木 憲
雪山に新しき年迎へたる吾娘の声受話器に澄みて聞こゆる
渡辺 礼子
茅原の白き穂架は光り飛ぶ峽の青空澄みきまわりて
金指 節子
手足すでに冷え冷えとして死は近し祖父の心音聞遠に伝はる
村井 道弘
誕生日に娘の買ひくれし歌書二冊机上にはほのかな温もりをもつ
原田 芳子
降り初めし門松の雪手にとりて食めば幼なき日々を恋はしむ
関本 三江子
求めゆけばまだ何かある新雪にわが足跡の残るを見れば
福田 幸代
山陰にひねもす残る霜柱踏みくつきつ新春を親しむ
海道 貝次郎